

緊急被ばく医療臨床実習

広島大学では、平成 29 年度より、医学科 5 年生を対象に緊急被ばく医療に関する臨床実習を開始しました。これは、救急医学の臨床実習(2 週間)の時間を使って行われるもので、臨床実習第 2 週目の木曜日午前に実施されます。担当は、原爆放射線医科学研究所の廣橋伸之教授と緊急被ばく医療推進センターの谷口金吾放射線技師です。具体的な実習内容は、緊急被ばくのミニレクチャーを受けた後に、GM サーベイメータの使用法、タイベック防護服の着脱、防護マスクの装着等について行っています。今後は、患者受け入れのシミュレーション、汚染創の除染手技なども行うことを計画しています。

